

3. 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に合わせた教育研究活動あるいは学部教育・大学院教育の質を向上させるための独自の教育研究活動

(組織・教育課程の改編、カリキュラム改訂、実務実習の実施体制・内容の変更等)

以下に参画大学の事業成果報告をもとに、年度毎に、実施大学別に教育研究プログラムとその概要をまとめた。事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されているが、紙面の関係上本報告書には掲載していない。これらについては、各実施大学のホームページ等で公開することとしているので、ご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2018年（平成30年）度】

<北海道大学>

- ・調整機構の中に委員会やワーキンググループを設け、地区内で共有可能な施設情報登録システム運用や実習評価の改善に協力している。

<東北大学>

- ・事前学習を含めて、カリキュラムの見直しを継続的に行っている。
- ・薬事関係法規2（1単位）、臨床コミュニケーション学（1単位）を必修科目として、新しく開講した。

<東京大学>

- ・2018年度には、事前学習における薬物治療関連の講義を代表8疾患をカバーする内容に改定したが、症例解析など学生からのアウトプットの機会が十分でなかった。そのため、現在課題症例の作成などを行っている。

<富山大学>

- ・学生の学修の理解を深めるためのFDの実施し、臨床前実習での概略評価の作成を行った。
- ・改訂コアカリに沿った学習について理解を深めるために、OBE説明会、アドバンストワークショップ、スキルアップワークショップ、ワークショップを実施した。
- ・旧カリの事前学習の講義部分を4年生前期科目として病院薬学・保険薬局薬学の新科目を設置し、実習前に薬剤師業務を理論的に学習するようにしている。試験を実施し、知識の定着を目指している。

<金沢大学>

- ・金沢大学薬学類は教育理念に則り強いリーダーシップを有し、国際的視野で活躍できるバランスのとれた医療人や薬学教育・研究者の養成を目指す。今後の医療体制は、医療、介護、保健、福祉を切れ目なく結びつけた地域包括ケアシステムの構築が前提となっている。従って、実務実習においても現状と将来を見据えた実習体制を構築した。
- ・北信がんプロがん個別化薬物療法薬剤師リーダーコースを実施した（金沢大学、富山大学）。【連携】

<静岡県立大学>

- ・2年次生の早期体験学習において、AED講習会を必修として開始した。一般市民として必要なAEDの使い方などを学習している。

<岐阜薬科大学>

- ・振り返りレポートを活用した大学・施設間情報連携に関するトライアル実習を進める。
- ・ルーブリック評価を実務実習事前学習に導入した。その他の科目でも導入を検討している。

<名古屋市立大学>

- ・東海地区調整機構に所属する薬系大学（名市大薬、岐阜薬科大、静岡県大薬、名城大薬、愛知学院大薬、金城学院大薬、鈴鹿医療科学大薬）7大学が主体となり、各県薬剤師会、病院薬剤師会と連携して、名市大薬に拠点を置き、新しい臨床薬学教育の推進のためのコンソーシアムを運営し、東海地区の連携を図った。【連携】
- ・1年生からのポートフォリオ作成と継続的な「薬剤師として求められる基本的な資質」の評価を実施した。

<京都大学>

- ・京都府薬剤師会と連携し、2019度からの改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習における実習環境の整備を目的として、近隣薬局を集めた実務実習グループ協議会を開催した。グループ内の薬局に対し学校薬剤師に関する実習実施の可否についてアンケート調査を行った。
- ・協議会では、薬局実習における実習内容の分担案や実施スケジュールに関する協議及び実務実習実施計画書の作成における情報共有を行った。また、実務実習開始に向けてWEBシステムの使用法、薬局・病院・大学の連携、各種問い合わせ先などの最終確認を行った。
- ・臨床体験講習として、4年次後期医療実務事前学習期間中に京都大学医学部附属病

- 院看護部の看護師に、非常勤講師の指導でフィジカルアセスメント実習を実施した。
- ・1年次の入学時オリエンテーションにおいて、心肺蘇生のトレーニングキットを用いた救命講習を行っている。それを受けて4年次に京都市左京消防署より講師を派遣していただき、シミュレーターを用いて一次救命講習を実施した。
 - ・2019年度からの改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習における実習環境の整備を目的とし、昨年度より京都府薬剤師会と連携して近隣薬局および病院の薬剤師を集めた実務実習グループ協議会を開催している。2018年度も8月および1月に実務実習グループ協議会を開催した。8月の協議会に先立ち、グループ内の薬局に対し、学校薬剤師に関する実習実施の可否についてアンケート調査を行い、33薬局より回答を得た。協議会には、薬局より15名、病院より3名、京都府薬剤師会より2名、大学より9名が参加し、上記アンケート結果のフィードバックを行うと共に、薬局実習における実習内容の分担案や実施スケジュールに関する協議および実務実習実施計画書の作成における情報共有を行った。1月の協議会は薬局より11名、病院より4名、大学より2名が参加し、実務実習開始に向けてWEBシステムの使用法、薬局・病院・大学の連携、各種問い合わせ先などの最終確認を行った。

<岡山大学>

- ・改訂モデル・コアカリ対応実習における日本薬剤師会、日本病院薬剤師会がそれぞれ作成した形成的評価表に対応する大学の臨床準備教育のルーブリックを作成し、大学での到達度を実務実習先と共有した。
- ・実務実習指導・管理システム（以下、Webシステム）の導入に伴い、教授会の審議を経て、基礎系の教員も含めて薬学部全教員が実習生の実習進捗状況の見守りと施設訪問を行う体制を整備した。その説明会として第47回FDフォーラムとして開催した。
- ・富士ゼロックスシステムサービスの方に来学頂き、臨床系の教員全員が参加してWebシステムの運用説明会を受けた。
- ・病院実務実習WGを開催し、実習上の問題点の共有と解決方法について、またWebシステムの導入に伴い、改訂モデル・コアカリ対応実習における形成的評価に関して、従来、岡山大学病院独自で作成・使用されてきたルーブリック評価表との併活用の具体的方法や、Webシステムや地域連携ツールを使用した薬局との情報共有の方法などについて議論を行っている。
- ・岡山県薬剤師会-岡山県病院薬剤師会-大学の三者による実習特別委員会を数か月に1回の頻度で開催しており、改訂モデル・コアカリ対応実習における大学～薬局～病院実習での実習生の到達度や、実施できた8疾患の連携ツールでの情報共有、ルーブリックでの形成的評価などにつき検証や議論を重ねている。
- ・県薬剤師会、就実大学および本学の臨床系教員が月1回薬局実習委員会を開催し、2019年度からの改訂モデル・コアカリ対応のトラブル事例や課題について情報共有し、議論している。

- ・岡山県病院薬剤師会、就実大学および本学の臨床系教員2名が参集して、月1回県病実習委員会を開催し、改訂モデル・コアカリ対応実習のトラブル事例や課題について情報共有し、実習を円滑に実施できるように議論している。
- ・中国・四国地区の薬学部・薬科大学10校で構成される大学委員会を年3回開催される調整機構会議の直前に行っており、第三者委員会によるトラブル事例や良い事例の報告・共有、中国・四国地区ならびに近畿地区などからのふるさと実習受入れ・実習配属先の相談、九州・山口地区へのふるさと実習の依頼、など改訂モデル・コアカリ対応実習に関する諸問題に関して、議論を行っている。【連携】
- ・臨床準備教育の実習部分の技能・態度に関する形成的評価を大学独自で作ったルーブリックで行っている。
- ・近隣の終末期医療に関わっている開業医の協力の下、外来・診察室での患者コミュニケーションや、在宅での地域医療にかかわる医療従事者（ケアマネージャー、訪問看護師、薬剤師等）のチーム連携に関する演習を行っている。
- ・地域包括ケアシステムにおける保険薬局業務の拡大を考慮して、薬局薬剤師業務の紹介や、ロールプレイ、SGDを入れることによって、より充実を図った。
- ・5、6年次の選択科目として行っていたフィジカルアセスメントを2年次の早期体験学習と4年次の事前実習に取り入れ必修化した。救命処置をシミュレーターで実施できるようにカリキュラムを変更して実施している。

<広島大学>

- ・改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した長期実務実習の連携体制の構築を行った（大学・薬局・病院の連携システム、評価指標の設定、トライアルの実施など）
- ・薬剤師会との連携による薬剤師を対象とした在宅支援薬剤師専門研修会（無菌製剤、バイタルサインなど）を実施している。

<徳島大学>

- ・授業内容とカリキュラムの再編成を行っている。

<九州大学>

- ・改訂コアカリ対応薬局実務実習トライアルを実施した。
- ・一次救命処置の実習・講義、在宅業務の内容・重要性・今後についての講義、シミュレーターを用いての心音・呼吸音の聴取の実習を実施した。

<長崎大学>

- ・地域薬剤師卒後教育研修センターが主催する講習会等を開催した。薬学部育薬研究教育センターへ新規に専任教授（女性教員）を配置した。
- ・1年間にわたり、長崎大学病院薬剤部にて病院実習の先行導入を行った。
- ・長崎市内の多くの実習薬局にて薬局実習の先行導入を行った。
- ・九州大学、熊本大学、長崎大学の3大学で本事業の取組としてシンポジウムを開催

している。2020年度は長崎大学で開催予定である。

<熊本大学>

- ・医学部の協力を得て、医学生との臨床実習（ポリクリ）を実施した。
- ・独自の全学年を通じたe-ポートフォリオを導入した（事前学習と実務実習との連携を重視）。
- ・実務実習に関する合同説明会を実施した（主催：熊本大学薬学部、崇城大学薬学部、共催：熊本県薬剤師会、熊本県病院薬剤師会）。
- ・PROGテスト、マナー人材育成の講義を実施した。
- ・アントレプレナーの講義とスモールグループディスカッションを実施した。